

○三重大学生物資源学部規程

(平成 16 年 4 月 1 日規程第 483 号)

改正 平成 17 年 2 月 16 日規程
平成 19 年 9 月 12 日規程
平成 21 年 3 月 30 日規程
平成 26 年 3 月 27 日規程第 483 号
平成 29 年 3 月 31 日規程第 483 号
平成 31 年 3 月 29 日規程第 483 号
令和 3 年 4 月 1 日規程第 483 号
平成 18 年 3 月 27 日規程
平成 20 年 3 月 31 日規程
平成 24 年 1 月 31 日規程
平成 27 年 3 月 31 日規程第 483 号
平成 30 年 3 月 30 日規程第 483 号
令和 2 年 3 月 31 日規程第 483 号

(趣旨)

第 1 条 三重大学生物資源学部(以下「学部」という。)に関する事項は、三重大学学則(以下「学則」という。)及びその他の規則等に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(学部の目的)

第 1 条の 2 学部は、生物資源に関する独創性及び専門性を兼ね備えた広い視野を持ち、地域に根ざしたグローバルな視点に立ち、自らの力で問題解決ができる知識及び能力を身につけた人材を育成し、自然との共存を図り、生物資源の適正な開発・利用・保全を追求し、地域及び国際社会に貢献することを目的とする。

(学科の目的)

第 1 条の 3 資源循環学科は、生物資源を効率よく循環利用するための技術開発や新しい社会のデザインをすることができる人材を育成し、調和のとれた循環型社会の構築に貢献することを目的とする。

2 共生環境学科は、陸圏・海洋圏・大気圏が複雑に連動する地球生態システムに関わる問題に対応できる専門知識・技術を有した人材を育成し、人間活動と生態系が調和する持続的社会的な構築に貢献することを目的とする。

3 生物圏生命化学科は、多様な陸上・海洋生物の代謝・物質・機能を解析することを通して生命化学を理解し、医薬品・食品などの開発、未利用資源の利活用などに資する人材を育成することにより、人類の健康増進及び農林水産業の発展に貢献することを目的とする。

4 海洋生物資源学科は、海洋生物系の理解並びにその諸問題に対応できる専門知識と技能を備えた人材を育成し、海洋における生物資源の持続可能な生産と生物多様性の保全に貢献することを目的とする。

(授業科目)

第 2 条 学部の授業科目は、教養教育科目及び専門教育科目とする。

(履修方法)

第 3 条 教養教育科目及び専門教育科目に関する履修方法は、別表に定めるところによる。

2 教養教育科目に関する授業科目及び単位数については、別に定めるところによる。

3 専門教育科目に関する授業科目及び単位数については、別に定めるところによる。

(履修科目の申告)

第4条 生物資源学部学生(以下「学生」という。)は、毎学期の始めに、その学期に履修しようとする授業科目(卒業研究を除く。)を、所定の手続により申告しなければならない。

2 前項の申告は、受講学生数又は時間割の都合上、変更させることがある。

3 登録単位数の上限は半期 26 単位とする。ただし学部が指定する科目については履修上限単位から除外する。なお、通算GPAが3.4以上の学生においては、半期26単位を超えて履修することを妨げないこととする。

第5条 卒業研究は、履修する年度の前年度の末日までに申告しなければならない。

2 卒業研究は、学生が所定の要件を満たしていない場合、これを履修させないことがある。

(他学部における授業科目の履修等)

第6条 他学部の授業科目の履修又は聴講を希望する学生は、生物資源学部長(以下「学部長」という。)を経て、当該学部長の許可を得なければならない。

2 前項の規定により履修した授業科目及びその修得単位数は、生物資源学部教授会(以下「学部教授会」という。)が適当と認めた場合は、卒業に必要な単位として認めることがある。

(他の大学(専門職大学を含む。)又は短期大学における授業科目の履修等)

第7条 学則第67条の規定に基づき、学生が他の大学(専門職大学を含む。)又は短期大学における授業科目を履修しようとする場合は、学部長を経て、学長の許可を得なければならない。

2 前項の規定により修得した単位は、学部教授会の議を経て、60単位(学則第68条に規定する学修及び第69条に規定する認定による単位を含む。)を超えない範囲で、卒業に必要な単位として認めることがある。

(考査、試験及び成績)

第8条 授業科目(卒業研究を除く。)の成績考査は、試験、履修の状況及びその他の方法により行う。

第9条 試験は、毎学期の終わりに期間を定めて行う。ただし、授業科目によっては随時又は臨時に行うことがある。

2 病気その他やむを得ない理由のため、試験に欠席した場合は、願い出により、学部教授会の議を経て、当該授業科目の追試験を行うことがある。

第10条 卒業研究の成績考査は、論文により行い、口述試験を併せて行うことがある。

第11条 成績は、10点満点をもって表し、6点以上を合格とする。

(単位の認定)

第12条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、単位を与える。

(課程の修了)

第13条 学部に修業年限以上在学し、所定の単位数を修得した者について、学部教授会の議を経て、所定の課程を修了したことを認定する。

(卒業検定結果に対する特別措置)

第 14 条 卒業に必要な専門教育科目の単位が不足し、次の各号に該当する者については、願い出により、学部教授会の議を経て、3 月 25 日までに、臨時試験等を行うことがある。

(1) 専門教育科目の不足単位数が、6 単位以内の者

(2) 病気その他やむを得ない理由により、定期試験を受験できなかった者

2 前項の臨時試験等によって卒業単位を充足した者については、学部教授会の議を経て、3 月 31 日付けをもって卒業と認定する。

(3 年次編入学)

第 15 条 学則第 46 条の各号のいずれかに該当する者につき、3 年次編入学試験を行い、学部教授会の議を経て入学を許可する。

2 3 年次編入学に関する規程は別に定める。

(再入学，転入学，編入学)

第 16 条 学則第 47 条第 1 項の各号のいずれかに該当する者があるときは、選考の上、学部教授会の議を経て、入学を許可することがある。

(転学部)

第 17 条 本学学生で学部転学部を希望する者があるときは、選考の上、学部教授会の議を経て、許可することがある。

(転学科)

第 18 条 学生で転学科を希望する者があるときは、選考の上、学部教授会の議を経て、許可することがある。

(帰国生徒の入学)

第 19 条 帰国生徒であって学部へ入学を志願する者は、別に定めるところにより、選考の上、学部教授会の議を経て、入学を許可することがある。

(社会人の入学)

第 20 条 社会人で学部へ入学を志願する者は、別に定めるところにより、選考の上、学部教授会の議を経て、入学を許可することがある。

(科目等履修生)

第 21 条 科目等履修生の入学資格は、学部教授会の議を経て、当該授業科目を履修するに十分な学力があると認めた者とする。

2 科目等履修生の在学期間は、履修科目の授業が行われる期間とする。

(研究生)

第 22 条 研究生の入学資格は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 大学卒業者

(2) その他学部教授会の議を経て、相当の学力があると認めた者

2 研究生の研究課題及び指導大学教員は、学部教授会の議を経て、学部長が定める。

(特別聴講学生)

第 23 条 他の大学又は短期大学の学生で、本学部の授業科目を履修しようとする者があるときは、学則第 102 条の規定により、当該の大学又は短期大学との協議に基づき、学部教授会の議を経て、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生の入学時期は、聴講科目が開始される学期とする。

(留学)

第 24 条 学生が、外国の大学等に留学を志願する場合は、学部長を経て、学長に願い出なければならない。

(教育職員の免許)

第 25 条 学則第 71 条の規定による教員の免許状を受けるための所要資格を取得しようとする者は、別に定めるところにより、所定の単位を修得しなければならない。

(資格)

第 26 条 次の各号に掲げる資格を取得しようとする者は、別に定めるところにより、所定の単位を修得しなければならない。

(1) 食品衛生管理者及び食品衛生監視員

(2) 測量士補

(3) 学芸員

(4) 技術士補

(雑則)

第 27 条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、学部教授会の議を経て、学部長が定める。

附 則

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年 2 月 16 日規程)

1 この規程は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 16 年度以前の入学者については、改正後の規程別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 18 年 3 月 27 日規程)

この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 19 年 9 月 12 日規程)

1 この規程は、平成 19 年 9 月 12 日から施行し、平成 19 年度の入学者から適用する。

2 平成 18 年度以前の入学者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、第 14 条(卒業検定不合格者に対する特別措置)については、平成 18 年度以前の入学者についても適用する。

附 則(平成 20 年 3 月 31 日規程)

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 21 年 3 月 30 日規程)

- 1 この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 20 年度以前の入学者については、改正後の規程別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 24 年 1 月 31 日規程)

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 26 年 3 月 27 日規程第 483 号)

- 1 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 25 年度以前の入学者については、改正後の規程第 14 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 27 年 3 月 31 日規程第 483 号)

- 1 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 26 年度以前の入学者については、改正後の規程第 2 条、第 3 条及び別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 29 年 3 月 31 日規程第 483 号)

- 1 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 28 年度以前の入学者については、改正後の規程第 1 条の 3 及び別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 30 年 3 月 30 日規程第 483 号)

- 1 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年度以前の入学者については、改正後の規程第 1 条の 3 及び別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 31 年 3 月 29 日規程第 483 号)

- 1 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 30 年度以前の入学者については、改正後の規程別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(令和 2 年 3 月 31 日規程第 483 号)

- 1 この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和元年度以前の入学者については、改正後の規程別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(令和 3 年 4 月 1 日規程第 483 号)

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

別表(第3条関係)

教養教育科目及び専門教育科目に関する履修方法

森林資源環境学

教育コース

科目		所属	資源循環学科		
			農業生物学教育コース	森林資源環境学教育コース	グローバル資源利用学教育コース
		教養教育科目	40 単位		
専門教育科目	学部必修科目	9 単位			
	学科必修科目	16 単位			
	教育コース必修科目	30 単位	29 単位	32 単位	
	教育コース選択必修群科目	/	/	/	
	選択科目	22 単位	23 単位	20 単位	
	自由科目	8 単位			
計		125 単位			
科目		所属	共生環境学科		
			地球環境学教育コース	環境情報システム学教育コース	農業土木学教育コース
		教養教育科目	40 単位		
専門教育科目	学部必修科目	9 単位			
	学科必修科目	16 単位			
	教育コース必修科目	26 単位	30 単位	31 単位	
	教育コース選択必修群科目	/	/	/	
	選択科目	26 単位	22 単位	21 単位	
	自由科目	8 単位			
計		125 単位			
科目		所属	生物圏生命化学科		
			生命機能化学教育コース	海洋生命分子化学教育コース	

教養教育科目		41 単位	
専門教育科目	学部必修科目	9 単位	
	学科必修科目	20 単位	
	教育コース必修科目	27 単位	27 単位
	教育コース選択必修群科目	／	／
	選択科目	20 単位	20 単位
	自由科目	8 単位	
計		125 単位	
所属 ／ 科目	海洋生物資源学科		
	海洋生物資源学教育コース		
	水圏増殖学プログラム	海洋生産学プログラム	
教養教育科目		41 単位	
専門教育科目	学部必修科目	9 単位	
	学科必修科目	24 単位	
	教育コース必修科目	／	／
	教育コース 選択必修群科目	24 単位	24 単位
	選択科目	19 単位	28 単位
	自由科目	8 単位	
計		125 単位	